

小城市（区町村）地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和5年3月）

公共交通体系	目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
鉄道	JR小城駅・牛津駅の一泊あたりの乗車人員数 現在値（令和2年度）1,567人 ↓ 目標値（令和8年度）1,800人	○各公共交通機関との連携 ○鉄道駅の機能強化 ○鉄道利用の促進	JR九州旅客鉄道（株）の公表値	達成状況 ・令和3年度 1,545人 （令和4年度末時点公表内容）  分析 未だ新型コロナウイルス感染症の流行期間であり、市内の駅乗車人員数については厳しい結果となっている。 令和4年度の乗車人員数が未公表のため、前年度の公表値にて分析	・新型コロナウイルスの影響による業績悪化等を理由にJR九州管内の多くの鉄道駅が無人駅や営業時間の短縮となった。市内の駅では、小城駅が営業時間の短縮、牛津駅が無人駅となり、利用者の利便性低下が懸念される。  ・昨年度に引き続き、鉄道交通の充実に係る要望活動やPRを実施する。  ・令和5年度は、牛津駅のロータリー整備を予定している。	
路線バス	利用者数 現在値（令和2年度）378,215人 ↓ 目標値（令和8年度）450,000人	○各路線バスの運行維持 ○県・関係自治体との連携	運行事業者からの報告	達成状況 ・令和4年度 355,949人  分析 新型コロナウイルス感染症による影響もあり、利用者数の減が続いている。	・路線バスについては、令和4年度も新型コロナウイルスによる影響もあり、利用者が減少傾向となっている。併せて、原油価格の高騰による燃料費の増加や全世界的な物価の上昇もあり、引き続き厳しい運行状況となっている。  ・令和4年度は、県で「さがまるっとバスフリーDAY」を実施され、小城市も事業に参画した。  ・Withコロナ・Afterコロナの時期に意向した後、路線バスの利用者を増やすため、引き続き、関係者間での協議や情報共有を行っていく。  ・新公立病院への路線バス乗り入れについては、関係機関と協議を進める。	
	運行収入と運行費用の差額 現在値（令和2年度）△301,340千円 ↓ 目標値（令和8年度）△165,000千円		運行事業者からの報告	達成状況 ・令和4年度 △292,931千円  分析 新型コロナウイルス感染症による影響もあり、費用の超過額が高い水準にある。		
	小城市からの財政支出額（補助額） 現在値（令和2年度）29,484千円 ↓ 目標値（令和8年度）16,000千円		補助交付額	達成状況 ・令和4年度 32,925千円  分析 新型コロナウイルスの影響で小城市の補助額について、コロナ以前と比べると高い数字となっている。		
廃止路線代替バス	利用者数 現在値（令和2年度）13,634人 ↓ 目標値（令和8年度）20,000人	○運行路線の維持 ○運行時刻、便数の見直し	運行事業者からの報告	達成状況 ・令和4年度 11,991人  分析 新型コロナウイルス前に比べると、以前として厳しい数値である。	・廃止路線代替バスについては、令和4年度も新型コロナウイルスによる影響もあり、利用者が減少傾向となっている。併せて、原油価格の高騰による燃料費の増加や全世界的な物価の上昇もあり、引き続き厳しい運行状況となっている。  ・令和4年度は、県で「さがまるっとバスフリーDAY」を実施され、小城市も事業に参画した。  ・利用者の増加に向けて、運行事業者や共同で運行補助をしている白石町と協議・検討を続けていく。  ・運行時刻についても、関係者で情報共有や協議を行っていく。	
	運行収入と運行費用の差額 現在値（令和2年度）△12,767千円 ↓ 目標値（令和8年度）△11,000千円		運行事業者からの報告	達成状況 ・令和4年度 △14,537千円  分析 新型コロナウイルス感染症による影響や燃料費の高騰もあり、費用の超過額が高い水準にある。		
	小城市からの財政支出額（補助額） 現在値（令和2年度）12,768千円 ↓ 目標値（令和8年度）11,000千円		補助交付額	達成状況 ・令和4年度 14,537千円  分析 新型コロナウイルスの影響で小城市の補助額について、コロナ以前と比べると高い数字となっている。		
コミュニティバス 乗合タクシー	利用者数 現在値（令和2年度）10,426人 ↓ 目標値（令和8年度）16,000人	○運行路線の維持 ○運行方法・時刻の見直し ○新たな路線等の検討	運行事業者からの報告	達成状況 ・令和4年度 9,641人  分析 新型コロナウイルス感染症による影響もあり、利用者数の減が続いている。	・令和4年度も新型コロナウイルスによる影響もあり、利用者が減少傾向となっている。併せて、原油価格の高騰による燃料費の増加や全世界的な物価の上昇もあり、引き続き厳しい運行状況となっている。  ・令和4年度は、県で「さがまるっとバスフリーDAY」を実施され、小城市も事業に参画した。  ・高齢者の方々の生活に必要な不可欠な事業であり、運行の維持と財政支出のあり方について、引き続き協議が必要。  ・利用者が少ない路線系統について運行方法の見直し等の検討を引き続き行っていく。  ・フリー乗降区間や過疎地域に対する支援策等について、協議・検討を進めていく。  ・新公立病院へのコミュニティバスの乗入れについては、関係機関と協議を進める。	
	運行収入と運行費用の差額 現在値（令和2年度）△21,947千円 ↓ 目標値（令和8年度）△20,000千円		運行事業者からの報告	達成状況 ・令和4年度 △23,001千円  分析 新型コロナウイルス感染症による影響や燃料費の高騰もあり、費用の超過額が高い水準にある。		
	小城市からの財政支出額（負担額） 現在値（令和2年度）23,093千円 ↓ 目標値（令和8年度）22,500千円		負担金交付額	達成状況 ・令和4年度 24,090千円  分析 新型コロナウイルスの影響や燃料費の高騰もあり、小城市からの負担金額は増加している。		
民間タクシー	利用者数 現在値（令和2年度）82,973人 ↓ 目標値（令和8年度）130,000人	○利用促進策の検討	九州運輸局公表資料から	達成状況 ・令和3年度 81,818人 （令和4年度末時点公表内容）  分析 ・未だ新型コロナウイルス感染症の流行期間であり、市内のタクシー利用者数については厳しい結果となっている。 令和4年度の利用率が未公表のため、前年度の公表値にて分析	・令和4年度も新型コロナウイルスによる影響もあり、利用者が減少傾向となっている。併せて、原油価格の高騰による燃料費の増加や全世界的な物価の上昇もあり、引き続き厳しい運行状況となっている。  ・令和4年度に運転免許返納者への割引制度の拡充された。市も引き続きホームページやチラシ等でPRを続けていく。  ・事業者からは、ドライバー確保に苦慮しているとの意見が挙がっている。	
公共交通共通	公共交通機関が便利だと思う市民の割合 現在値（令和2年度）27.60% ↓ 目標値（令和8年度）40.00%	○情報提供・PR ○市民協働による公共交通の在り方検討 ○ICT技術等の導入検討	毎年実施する総合計画アンケート結果	達成状況 ・令和3年度 34.70% （令和4年度末時点公表内容）  分析 ・前年度に比べ、若干の改善はあるものの、依然として満足度が低くなっている。 令和4年度のアンケート結果が未公表のため、前年度の結果を用いている。	・公共交通に関するPR等については、年間を通し実施している。  ・県などが実施する公共交通の事業への参画やPRを行う事によって、引き続き市内の公共交通の利用促進につなげたい。  ・アンケートや乗込み調査等を実施しながら、よりよい公共交通の運行に繋げていきたい。	

小城市地域公共交通計画の令和5年度の取組について（令和5年4月～令和6年3月）

公共交通体系	令和5年度に実施する取組	備考
鉄道事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 牛津駅のロータリー整備（小城市） 駅ロータリーの拡充と駅前広場の整備</li> <li>・ 県や関係自治体等と共に要望活動を行う（県・小城市・沿線市町） JRへの要望活動</li> <li>・ 鉄道利用の促進（県・小城市・交通事業者） 唐津線利活用・電化促進期成会での事業 駅利用イベント（小城駅120周年等）への協力</li> </ul>	
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 路線バス維持に向けた財政支出（国・県・小城市・沿線市町・交通事業者）</li> <li>・ 利用者確保に向けたイベント実施やPR活動（県・小城市・沿線市町・交通事業者） 利用促進事業への参画 例 R4実施「さがまるっとバスフリーDAY」</li> <li>・ 関係機関による会議・研修会の実施（県・小城市・沿線市町・交通事業者） 地域部会ワーキンググループへの参加 公共交通担当研修会への参加</li> <li>・ 新公立病院への路線バス乗入れ協議（小城市・多久市・交通事業者）</li> </ul>	
廃止路線代替バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃止路線代替バス路線維持に向けた財政支出（小城市・白石町・交通事業者）</li> <li>・ 廃止路線代替バスの運行時刻についての検証（小城市・交通事業者）</li> </ul>	
コミュニティバス 乗合タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティバス維持と財政支出の抑制（小城市・交通事業者）</li> <li>・ 老朽化した停留所の更新（小城市）</li> <li>・ 福祉施策（移動支援）との連携検討（小城市）</li> <li>・ 乗合タクシーの運行見直し（小城市・交通事業者） 芦刈町乗合タクシーの見直し</li> <li>・ フリー乗降区間の検討・導入（小城市・交通事業者） 市内巡回・広域循環ルート内でのフリー乗降区間の設定</li> <li>・ 新公立病院への巡回バスルートの協議・検討（小城市・多久市・交通事業者）</li> </ul>	
民間タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転免許返納者への割引制度のPR（小城市・交通事業者）</li> <li>・ タクシー事業に係る協議・意見交換（小城市・交通事業者）</li> </ul>	
公共交通全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通に関するPR等（国・県・小城市・交通事業者）</li> <li>・ アンケートや乗込み調査等を実施し、利用者ニーズの把握（小城市）</li> <li>・ これからの公共交通について、関係者間による協議等（国・県・市・交通事業者）</li> <li>・ 新しい公共交通技術等の研究（小城市）</li> </ul>	